

## 会 議 録

会議の名称	第1回行田市総合振興計画審議会
開催日時	令和元年11月12日（火） 開会：午前10時00分 閉会：午前11時30分
開催場所	行田市産業文化会館 第2会議室
出席者氏名	高澤克芳委員、木村博委員、橋本祐一委員、大関守宏委員 細井保雄委員、坂根茂夫委員、吉田廣明委員、三島透委員 荒岡浩徳委員、小林定春委員、大谷春美委員、関口正彦委員 町田眞一委員、大澤由子委員、碓井進太郎委員、高鳥和子委員 田尻要委員、山崎孝子委員、磯部佑二委員、今井明委員
欠席者氏名	岸田昌久委員、根本和雄委員
事務局	畔上総合政策部長、菅原企画政策課長、新井企画政策課政策推進幹、 横倉企画政策課主査
会議内容	(1) 総合振興計画策定の概要について (2) 行田市の現状について
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第</li> <li>・ 委員名簿</li> <li>・ 行田市総合振興計画審議会条例</li> <li>・ 資料1 総合振興計画策定の概要について</li> <li>・ 資料2 行田市第6次総合振興計画 基礎調査</li> </ul>
その他 必要事項	傍聴者0名

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会	<p><b>1 開会</b></p> <p><b>2 委嘱状の交付</b></p> <p><b>3 市長あいさつ</b></p> <p><b>4 委員自己紹介</b></p> <p><b>5 会長及び副会長の選出</b></p> <p style="padding-left: 40px;">互選により、田尻要委員を会長、高澤克芳委員を副会長に選任することを全委員が承認。</p> <p><b>6 議事</b></p>
田尻会長	<p>・これより議事を進行する。議事に先立ち、会議の公開と会議録の作成について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>・行田市では、審議会・委員会等において個人情報を取り扱う場合を除いて、原則会議を公開することとしていることから、本日は公開として周知をしたが、傍聴人はいない。また、会議録は要点筆記により作成し、後日市役所2階の市政情報コーナー及び市のホームページにて公開する。</p> <p>なお、この審議会では原則として個人情報を取り扱う予定がないことから、次回以降も同様とする。</p>
田尻会長	<p>・会議の公開及び会議録については、事務局説明のとおりとなるのでご了承いただきたい。</p> <p>・それでは、はじめに議事（1）について、事務局より説明する。</p>
事務局	<p><b>（1）総合振興計画策定の概要について</b></p> <p style="padding-left: 40px;">（資料1により説明）</p>
田尻会長	<p>・現在、現行計画の検証作業、市民意見の取りまとめをしているとのことで、具体的な内容の審議は次回以降になると思うが、ただいまの説明について確認事項などはあるか。</p>
山崎委員	<p>・資料1策定における基本的視点の「アウトカム中心の指標を用いたPDCAサイクルによる進捗管理が可能な計画の策定」について詳しく分かるように説明してほしい。</p>
事務局	<p>・現行の総合振興計画では、まちづくり指標として116の目標値を設定している。一般的に、アウトプットは、整備した道路延長など、「事業量」としての指標で、アウトカムは、整備した道路によ</p>

<p>関口委員 事務局</p>	<p>り渋滞が緩和されたかなど、「事業効果」に関する指標である。第6次計画においては、アウトカム中心の指標を設定したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全審議会のスケジュールを予め決めることはできないか。</li> <li>・専門部会や策定委員会とも関連することなので、1月下旬、3月下旬、4月下旬、7月上旬、8月上旬、10月中旬から下旬というスケジュールで進め、日にちは可能な限り早くお知らせする。</li> </ul>
<p>細井委員 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・116のまちづくり指標について目標値ができていたのであれば教えていただきたい。</li> <li>・市民意識調査でわかる指標もあり、現在集計を行っているところである。第2回の現行計画の検証で結果が示せるよう、準備を進めている。</li> </ul>
<p>細井委員 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・116のもう少し細かい内容を知りたい。</li> <li>・総合振興計画は8つの大綱に分かれている。例えば、1つめの健康・福祉・医療・子育てに関する分野では、指標を29設定している。目標値に対する達成度は、まとまり次第提供したい。</li> </ul>
<p>細井委員 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それを元に我々が検討し、新しい計画を策定するということか。</li> <li>・基本的に、それを元に市内部で案を作成し、それに対して審議をいただきたいと考えている。</li> </ul>
<p>田尻会長 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他になければ、引き続き、議事（2）について、事務局より説明する。</li> </ul> <p><b>（2）行田市の現状について</b></p> <p style="text-align: center;">（資料2により説明）</p>
<p>田尻会長 細井委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただいまの説明について確認事項などはあるか。</li> <li>・市民意識調査について、主要な項目だけでも、他の市町村との比較があると、行田市の是正すべき点などがわかるのではないか。そのような比較資料をお願いしたい。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同様の調査は周辺の市でも行われている。今後、周辺市との比較データを提供させていただく。</li> </ul>
<p>田尻会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺市との比較は我々も知りたいところである。主だった項目だけでも用意していただきたい。</li> </ul>
<p>細井委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、工業団地を開発していないという説明だったが、工業団地が増えれば市の総生産は増加する。また、防災について、行田市は</li> </ul>

事務局	<p>災害が少なく、そういった点は市の魅力になる可能性があると思う。それについて教えていただきたい。</p> <p>・今回の総合振興計画では、土地利用構想図という行田市の土地利用の大まかな方針を示す図を作成したいと考えている。企業誘致は人口減少対策に直結するので、その中で産業団地等についても位置付けを検討していく必要があると考えている。防災面については、確かに行田市は災害が少ないとよく言われるが、それをこのような計画でアピールすべきかどうかは様々な意見がある。事実として災害が少ないというデータはあるので、移住・定住に関する取組みの中などで活かしていきたい。</p>
細井委員	<p>・雇用が増え所得が増えれば税収も増えるので、全てが活気づくと思う。観光入込客数について、以前は100万人以下だったが、今は150万人という説明があったが、日本全国の動向を見ると、5年前に800万人であった訪日外国人の数は、現在3000万人を超え、4倍超になっている。行田市も1.5倍に増えているが、観光資源を活性化してほしい。人が来ると市が潤う。</p>
事務局	<p>・観光入込客数については、特に平成20年代に入り、映画の公開や日本遺産認定など、行田市が注目を浴びる機会が幾度かあった。そういった際に一時的に増加はするものの、それが継続するという底上げが図れていない。また、観光入込客数が増えることも重要だが、来た方にお金を落とさせていただかなければ、市としてもプラスが無い。市の観光振興についても、計画の中に位置づけていきたいと考えている。</p>
細井委員	<p>・2024年に渋沢栄一が紙幣になる。再来年の大河ドラマにもなるので結構ブームになると思う。これらをきっかけに、深谷に来た方に、熊谷や行田も一緒に観光してもらえれば良い。長期宿泊できるようにすればお金を使う事になると思う。</p>
事務局	<p>・行田市は都心から近いが、観光面ではそれが強みでもあり弱みでもある。東京に近いので、市内に宿泊していく方が少ない。今後は一日観光による宿泊を伴った長期滞在をしていただけるよう、他市や県と協力して取り組んでいきたいと考えている。</p>
磯部委員	<p>・基礎調査の資料は良くまとまっている。行田市の人口推移を見る</p>

事務局	<p>と周辺地域よりも減少率大きい。更に年齢階層は高齢者が多い。</p> <p>今後ますます人口が近隣より減ってしまうという結果になると思う。産業振興・観光振興を重点に置いて、ある程度の人口が維持できるような長期構想を目指して進んでいただきたい。</p> <p>・本市では、市民課で転入・転出届の手続きを受け付ける際、任意でアンケート調査を実施している。その結果を見ると、当然ではあるが、就職や結婚、進学という人生の転機での転入出が大半を占める。結婚や進学はコントロールに限度があるが、転職・就職については市内に雇用の場が多ければ人が入ってくる機会も増える。雇用の創出が今後の重要なテーマになると考えている。</p>
関口委員	<p>・行田市は動線が弱い。行田市内に駐車場が少なく、観光地から観光地へのバスの乗り継ぎも弱い。これらを計画の中に取り入れるべきだと思う。</p>
事務局	<p>・本市への観光客の傾向として、古代蓮の里に来て蓮だけ見て帰る、又は忍城に来て郷土博物館だけ見て帰るという傾向が以前からある。いかにして他の施設も回ってもらうかが、重要な観光のテーマの一つであると考えている。</p>
田尻会長	<p>・他になければ、本日の議事は以上となる。皆さまの協力で今後の計画策定に向けて審議を進めていくのでよろしくお願ひしたい。会議の進行を事務局へお返しする。</p>
事務局	<p>・以上をもって、本日の会議を終了とする。第2回の審議会は令和2年1月下旬を予定している。詳細が決まり次第通知する。</p> <p style="text-align: center;">&lt; 閉 会 &gt;</p>